



わらしべの里通信

社会福祉法人
わらしべの里

第11号(通巻25号)
発行日
2007年10月1日
発行所
わらしべの家
パソ工房

童心に返った日帰り旅行

九月十四日、わらしべの家で働く人たちは、午前九時三十分施設公用車二台、栃木市福祉協議会のマイクロバスの三台に分乗して日帰り旅行に出かけた。

行き先は、大田原市にある「なかがわ水遊園」。昼前から、あらかじめ振り分けられた班で、昼食をはさみながら午後二時まで「おもしろ魚館」内を散策した。わらしべの里として、水遊園を訪れるのは、平成十五年度親子旅行以来、二度目。

コイの鱗は、冷たくて気持ちいい

館内には、清流那珂川、「世界の川」南米アマゾンをものぞく、「あこがれの海」(バリアリーフで遊ぶ)をテーマとした水と緑の展示ゾーンと体験交流ゾーンがあり、ミドリガメやコイ、ザリガメなどに触って、コイの



水槽で泳いでいる魚を観賞する参加者たち。

美しい魚たちに囲まれ心潤す

素敵なひとときを過ごす

ウロコは、冷たくて気持ちいい」と歓声をあげる。ある参加者は亀の愛くるしさに目を丸くし、甲羅の硬さに「二億年前に地球上に現れ、様々なものを



チューブ型トンネル水槽の中で、美しい魚たちに囲まれ心潤す素敵なひとときを過ごす参加者たち。

見て、生きる工夫を重ねてきたんだなあ」と話し、生態に関心を寄せていた。

展示ゾーンでは鮎やニッコウイワナ、マルタ、ウナギといった那珂川に棲む魚を中心に、普段見ることができないピラルクーや、シルバリアロワナなど、世界の淡水魚や珊瑚礁に棲む魚などがチューブ型トンネル水槽の中を泳いでいた。清らかな流れと、そのスケールの大きさにしばし、参加者は足を止め、美しい魚たちに囲まれ心潤す素敵なひとときを過ごした。

参加者たちは、わらしべに帰ってきてから「カメ、重たかったなあ。いろんな魚を見られてよかった」と話したり、「水遊園には、四年前にわらしべの旅行で訪れているけど、あのときより魚の種類が増えていた。ゆっくり観られて、ふれあいの機会を持てたことがよかった」と話していた。(混む、PORI)

おとしぼ

ようやく秋らしい風を感じる。

今年の夏は外気は熱風であった。

わらしべの家では、全て冷房を弱めにかけた室内作業であるが、それでも気分が悪くなった人が数人いた。そんなときには休憩室で休んでもらう。

全体として全員がこの夏を無事に乗りきってもらえた。そして秋の季節。

利用者の数も三十人定員に三十人の利用者となった。それぞれが三十の人生と過去と未来をもっている。前からの利用者で長い人は三十年近くになる。それだけ本人とご家族の高齢化も進んでいる。

そこに来た障害者自立支援法。さあ、これからは大変だ……。

仁



ボーリング大会開催される

互いに励ましあい、 交流できた夏の午後・・・

栃木市障害者施設協議会主催による、第四回交流ボーリング大会が七月五日と八月二日の二回にわたって開催された。市内施設の利用者と交流を深めるためにわらしべの家から十六名が参加した。

当日、会場となったボーリング場「ニュー不二ボウル」には、ピンを倒そうと投げて、なかなか思うようにはいかない人もいれば、容易にスペア、ストライクを連発する人、人それぞれにボーリングを楽しむ互いに励ましあい、交流する姿が見られた。今回参加した仲間たちからは、「ボーリング大会に参加して楽しかった」という声が多く聞こえた。他施設の利用者と交流したことに、「今回は、あまりしゃべれなかったの

で、次回には少ししゃべれるといい」と話す仲間や、「来年こそは、たくさんスペア、ストライクを連発するぞ」と話す仲間もいた。(混む)



1人ひとりが自分自身のストライクを目指して、全力投球していた。

第四期理事・監事決まる

九月十五日(土)に、第十七回評議員会ならびに第二十六回理事会が開催された。任期満了に伴う理事・監事の選任が議題に上がり、下記のとおり承認された。

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
金坂 記	渡邊 全一(理事長職務代理者)	金坂 直仁(常務理事)	本島 一男	小谷 博	大橋 誠	内海 靖浩	長澤 弘隆	義江(理事長)

任期 平成十九年十月一日～平成二十一年九月三十日

(敬称略)

パソ工房 ニュース

NEW

料金改定のお知らせ

ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り誠に、ありがとうございます。さて、本日はお知らせさせていただきます。パソ工房主力製品である名刺印刷の料金を、下記のとおり八月一日より値下げさせていただきます。今後ともお客様にご満足いただける製品づくりを目指します。どうぞ末永くご愛顧賜りますようお願いいたします。

名刺印刷料金表(1単位100枚)

モノクロ印刷 (片面印刷)	¥800
カラー印刷 (片面印刷)	¥950
モノクロ印刷 (両面印刷)	¥1,000
カラー印刷 (両面印刷)	¥1,200
※画像読込・加工作業 (1単位)	¥700

名刺がお客様のお手元に届くまで、約1週間のお時間をいただきます。

カラー印刷例

社会福祉法人 わらしべの里
わらしべの家 パソ工房
販売課長
金坂 チップ

〒328-0011 栃木県栃木市大宮町2708-3
TEL 0282-27-1627
FAX 0282-27-1675
E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp

モノクロ印刷例

社会福祉法人 わらしべの里
わらしべの家 パソ工房

販売課長
かね さか ち っ ぶ
金坂 チップ

〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
TEL・FAX 0282 27 1627・0282 27 1675



社会福祉法人 わらしべの里 (授産会計)
貸借対照表 2007(平成19)年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	16,140,837	流動負債	1,991,295
現金預金	11,791,750	未払金	1,646,555
未収金	4,349,087	預り金	344,740
固定資産	82,966,908	固定負債	8,862,188
基本財産	72,453,938	設備資本借入金	7,829,000
建物	60,460,716	退職給与引当金	1,033,188
土地	11,993,222	負債の部合計	10,853,483
その他の固定資産	10,512,970	純資産の部	
構築物	2,072,881	基本金	9,417,200
車両運搬具	530,635	基本金	9,417,200
器具及び備品	4,734,842	国庫補助金等特別積立金	40,449,839
権利	180,000	国庫補助金等特別積立金	40,449,839
施設設備等積立預金	1,060,624	その他の積立金	1,060,624
その他の固定資産	1,933,988	設備整備等積立金	1,060,624
		次期繰越活動収支差額	37,326,599
		次期繰越活動収支差額	37,326,599
		(うち当期経営活動収支差額)	1,333,943
		純資産の部合計	88,254,262
資産の部合計	99,107,745	負債及び純資産の部合計	99,107,745

法人本部会計
資金収支計算書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

科目	金額	科目	金額
寄付金収入	275,870	人件費支出	200,900
寄付金収入	275,870	役員報酬	200,900
雑収入	5,000	事務費支出	330,621
雑収入	5,000	旅費交通賃	209,176
受取り利息配当金収入	105	研修費	2,000
受取り利息配当金収入	105	消耗品費	6,979
経理区分間繰入金収入	200,000	通信運搬費	30,450
経理区分間繰入金収入	200,000	会議費	11,480
		業務委託費	62,800
		雑費	7,736
		小計	531,521
		当期資金収支差額合計	▲ 50,546
合計	480,975	合計	480,975

短期入所
資金収支計算書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

科目	金額	科目	金額
利用料収入	70,330	経理区分間繰入金支出	84,459
利用料収入	48,492	経理区分間繰入金支出	84,459
利用者負担金収入	21,838		
受取り利息配当金収入	29	小計	84,459
受取り利息配当金収入	29	当期資金収支差額合計	▲ 14,100
合計	70,359	合計	70,359

社会福祉法人 わらしべの里 (公益会計)
貸借対照表 2007(平成19)年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	65,920	流動負債	7,200
現金預金	5,860	未払金	7,200
未収金	60,060	負債の部合計	7,200
		純資産の部	
		次期繰越活動収支差額	58,720
		(うち当期経営活動収支差額)	58,720
		純資産の部合計	58,720
資産の部合計	65,920	負債及び純資産の部合計	65,920

わらしべの家
資金収支計算書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

科目	金額	科目	金額
授産事業収入	3,164,299	授産事業支出	3,307,426
請負事業収入	2,584,671	請負事業支出	2,582,655
自主製品事業収入	339,573	自主製品事業支出	339,549
IT事業収入	240,055	IT事業支出	385,222
利用料収入	41,651,401	人件費支出	28,261,893
利用料収入	35,829,650	職員俸給	14,314,600
利用者負担金収入	5,821,751	職員諸手当	5,364,107
経常経費補助金収入	50,000	非常勤職員給与	4,732,760
経常経費補助金収入	50,000	退職金	232,128
寄附金収入	10,000	退職共済積金	817,732
寄附金収入	10,000	法定福利費	2,800,566
雑収入	1,826,124	事務費支出	8,886,936
雑収入	1,826,124	福利厚生費	171,485
受取り利息配当金収入	5,764	旅費交通費	17,089
受取り利息配当金収入	5,764	研修費	12,000
経理区分間繰入金収入	684,459	消耗品費	178,630
経理区分間繰入金収入	684,459	器具什器費	8,110
		印刷製本費	404,377
		水道光熱費	358,605
		燃料費	203,019
		修繕費	1,488,028
		通信運搬費	111,853
		会議費	4,500
		広報報費	72,108
		業務委託費	3,992,439
		手数料	33,350
		損害保険料	887,070
		賃借料	702,997
		雑費	241,276
		事業費支出	3,028,713
		給食費	732,605
		保健衛生費	143,039
		教養娯楽費	154,180
		日用品費	43,858
		水道光熱費	643,181
		燃料費	434,363
		消耗品費	84,242
		器具什器費	119,895
		賃借料	673,200
		雑費	150
		借入金利息支出	260,681
		借入金利息支出	260,681
		経理区分間繰入金支出	1,407,930
		経理区分間繰入金支出	1,407,930
		固定資産取得支出	105,000
		器具及び備品取得支出	105,000
		借入金元金償還金支出	2,004,000
		施設資金借入金償還金支出	2,004,000
		積立預金積立支出	1,000,609
		施設設備等積立金積立支出	1,000,609
		小計	48,263,188
		当期資金収支差額合計	▲ 871,141
合計	47,392,047	合計	47,392,047

日中一時支援
資金収支計算書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

科目	金額	科目	金額
利用料収入	3,900	事務費支出	7,200
利用料負担金収入	3,900	業務委託費	7,200
経常経費補助金収入	62,020	小計	7,200
経常経費補助金収入	62,020	当期資金収支差額合計	58,720
合計	65,920	合計	65,920

